



10月全員協議会報告(10/24開催)

台風15号の被害状況と復旧対応

補正予算計上の9.3億円余の復旧事業費は3.3億円ほどの国や県からの支出金に、市の基金の取り崩しなどで財源を確保します。議会採決を待たずに専決され、早期の復旧を目指します。激甚災害に認定され、ある程度補填される可能性はあるものの、大きな予算です。議論の中で、「地区要望として出していた箇所が改修できずに被害をおこしている。未然対策こそ重要」と意見が出されました。

防災は住民の命と財産を守る最優先課題です。後回しにしたり、対処を怠ればツケがきます。

来年度の行政経営方針

- ① 未来に向けてチャレンジできるまち
 - ② SDGsの達成に向けて持続可能なまち
 - ③ デジタル化による変革
- 市はこの3点をあげています。ポストコロナとはなんなのか。教訓として引き出していることにずれを感じています。コロナ流行から3年。今必要なことを改めて16日から始まる11月定例会で問いたいと思っています。

市の職員の定年延長

定年が10年かけて65才定年になります。60才を超すと給与はフルタイムで7割に減額。短時間勤務や会計年度任用職員(20H)なども本人の意志で選択可。「働きたいから」というより「働かないと生きていけない」ために高齢者就業率は上がっています。市民にとっては市役所で働いている人はみんな同じですが、雇用形態は派遣臨時雇用、民間委託もあり、ますます複雑になります。

22世紀の丘公園たまりな整備

公共施設再配置計画の中では、プールとお風呂をやめて、子どもたちの室内遊び場にしようという方向が示されています。

子育て世代の室内遊び場を望む声ももつともです。それとともに議会の一般質問でも取り上げたように地元の方や高齢者の健康増進にプールやお風呂は役立っています。代替施設をたとえば資源ギャラリーの廃熱利用でつくるとかの検討もするべきだと思います。今年度中には方向が決まります。世代間の軋轢を生まない結論ありきでない検討をしてほしいです。



不登校もいじめも増加

文科省は不登校といじめがとも過去最多だったと公表しました。専門家は背景に競争的な教育があることを指摘しています。新自由主義が行き渡り、教師も子どもも失敗が許されない。学校がきゅうくつで安心して過ごせる場になっていないことに3年も続くコロナ対応の影響が上乘せされています。黙食・黙働って大人でもつまらない。あれダメこれダメ、友達とも満足に遊べなくて、本当につらかったらうと思います。



ねずみ山の秋
ヨメナ

11/12(土) 15時半～
浜松駅北口にて

志位和夫
日本共産党委員長
街頭演説会



くらしに安心と希望が
持てる静岡を！

11/20(日) 13時半～
葛川公会堂

市政報告会

何でも聞いてみよう

生活のこと・平和のこと・
政治について

いっしょに

おしゃべりしませんか

(主催：日本共産党掛川東支部)



一番大切なことは、教員を増やし、少人数学級を進める事。ひとりひとりの個性にそったゆとりある学校づくりをすること。あまりに長い拘束時間や多すぎる学習内容を減らし自由な遊び時間を保障することです。今掛川市が学校再配置計画で進もうとしている方向は少し違うと思います。教育委員会が多用する「切磋琢磨」や家でもがんばることを強いられる家庭学習、できるできないも自己責任の今の教育の弱点を私は感じてしまいます。

